

江別市立大麻小学校 学校だより 令和5年度 臨時号

ハルニシ



令和6年2月29日

大麻小学校教育アンケート結果

- 保護者アンケートの集約結果及び学校の見解について
- 児童アンケートの集計及び分析結果について



「大麻小学校の教育に関するアンケート」の集約について

昨年 11 月にご協力をお願いしました保護者アンケートを集約いたしました。回答数は294件、回答率は、89.3%でした。皆様のご協力に感謝いたします。下に記載しております評価の数値化した部分の黄色は昨年度より減少、青は昨年度より上昇した項目を示しております。

評価項目に着目しますと13項目全てにおいて平均値(2.5)を上回っており、「5 豊かな心」「8 情報発信」「10 家庭への連絡・意思疎通」「11 行事の日程・内容」「12 安全確保」の項目に対し、高い評価をいただきました。今後も安全・安心を第一に考えながら、教育活動を着実に進め、お子様の様子を積極的にお知らせし、学校と家庭の意思疎通が図れるよう取り組んでまいります。一方、「3 生活習慣」「4 家庭学習」については、やや低い評価となっております。学校と家庭が連携を図りながら、時間をかけて粘り強く取り組んでいくことが必要と考えております。

保護者の皆様からいただきましたご意見については、次年度の学校改善に向け、役立ててまいります。そして、皆様のご理解とご協力を得ながら、改善に向けた取組を推進するとともに情報発信に努めてまいります。なお、「児童アンケート」の集計と分析結果についてもお知らせいたします。

■ 4段階評価の数値化 ①=4 ②=3 ③=2 ④=1 (最大値 4.0 平均値 2.5)

「①=よくあてはまる」「②=まあまああてはまる」「③=あまりあてはまらない」「④=全くあてはまらない」「不明=よくわからない」

	評価項目	①	②	③	④	不明	5年度	R4年度	R3年度
1	お子さんは、学校に行くのを楽しみにしていると思いますか。	95	154	32	10	3	3.15	3.22	3.31
		32.3%	52.4%	10.9%	3.4%	1.0%			
2	お子さんは、あいさつをする習慣が身についていると思いますか。	89	169	33	3	0	3.17	3.12	3.16
		30.3%	57.5%	11.2%	1.0%	0.0%			
3	お子さんは、基本的な生活習慣が身についていると思いますか。	61	150	66	16	1	2.87	2.82	2.82
		20.7%	51.0%	22.4%	5.4%	0.3%			
4	お子さんは、家庭での学習習慣が身についていると思いますか。(時間の目安として、10分×学年)	70	125	78	18	3	2.85	2.92	2.90
		23.8%	42.5%	26.5%	6.1%	1.0%			
5	お子さんは、豊かな心が育っていると思いますか。(助け合う、思いやる、など)	104	175	12	0	3	3.32	3.30	3.34
		35.4%	59.5%	4.1%	0.0%	1.0%			
6	お子さんは、運動に対する興味や関心が育っていると思いますか。	120	115	52	5	2	3.20	3.13	3.32
		40.8%	39.1%	17.7%	1.7%	0.7%			
7	お子さんは、学習や活動に最後まで粘り強く取り組んでいると思いますか。	72	176	36	2	8	3.11	3.08	3.09
		24.5%	59.9%	12.2%	0.7%	2.7%			
8	学校は、学校の様子(含:教育方針)を学校便り・学級通信やHPなどで、わかりやすく伝えていきますか。	127	139	14	10	4	3.32	3.42	3.38
		43.2%	47.3%	4.8%	3.4%	1.4%			
9	学校は、保護者の願いや期待に応えていると思いますか。	95	161	12	8	18	3.24	3.36	3.33
		32.3%	54.8%	4.1%	2.7%	6.1%			
10	学校は、家庭訪問・参観日後の懇談会・教育相談などを通じて、家庭への連絡などの意思疎通を十分に図っていますか。	126	139	15	8	6	3.33	3.46	3.35
		42.9%	47.3%	5.1%	2.7%	2.0%			
11	運動会や学芸発表会、遠足、家庭訪問、参観日などの行事の日程や内容等は、適切だと思いますか。	136	134	17	4	3	3.38	3.35	3.44
		46.3%	45.6%	5.8%	1.4%	1.0%			
12	学校は、火災や地震、感染症対策など、児童の安全確保の面で充分取り組んでいると思いますか。	112	135	12	4	31	3.35	3.45	3.39
		38.1%	45.9%	4.1%	1.4%	10.5%			
13	学校は、校舎内外の環境整備に充分取り組んでいると思いますか。	90	129	24	5	46	3.23	3.30	3.30
		30.6%	43.9%	8.2%	1.7%	15.6%			
14	学校は、外部講師や地域の施設を活用して教育活動を行う等、教育資源を有効活用していると思いますか。	78	137	15	4	60	3.24	未実施	未実施
		26.5%	46.6%	5.1%	1.4%	20.4%			

学校に対する意見・要望（記述欄）

学校経営・全体について

意見	<p>☆ 近年、学校教育が抱える課題もますます複雑化、多様化している中、教職員の方々のご苦勞はいかほどのことかと思いますが、お陰様で、娘はいつも楽しく有意義な学校生活を送らせていただいております。本当にありがとうございます。教職員の方々には、どうかお身体をお勞りください。そして、これからもよろしく願いいたします。</p> <p>☆ いつもありがとうございます。暗記させるではなく、クイズ形式で思考させる工夫や、自分達で相談して意見をまとめる機会等、先生の工夫を基に楽しんで学習できています。感染症や長期休み明けにあわせて、夏休み明け前日に麻ハビまつりは良かったです。行きたくない話を傾聴しました。読み聞かせスペシャルも冬休み明けに、お年玉プレゼントで企画できれば、話をするきっかけになるかなと思います。感謝カードも、春休み一日目にできれば、異動や退職の先生に、クラス全体でありがとうございますを伝えられるかなと思います。図書推進として、他校では、袋に本をつめて、何が入っているかわからないようにしたところ、盛況だったようです。長縄大会もいいと思いますが、本の良さを紹介する大会もどうかと思います。</p> <p>☆ いつも、ありがとうございます。発表会の雰囲気良くなったような気がしたので、努力してくれてる先生がたが、たくさんいるのかなと思いました。色々大変な時代ですが、こどもたちが少しでも笑顔でいれる瞬間が多いといいなと思っています。勉強は、チャットGPTやネットなどでも調べて大人になってもできるので、社会生活の面を育てるのに力を入れてくれる学校だと、私はありがたいです。（私にはできないため）直接一問目の学校に行くのか楽しみにしているかは、子供に直接聞いたら、学校に行くのを楽しみにしてるよく当てはまると自分で言っていました。ありがとうございます。</p> <p>1 学級閉鎖等の連絡は該当クラスのみになっていますが、今後、全学年に情報共有する予定はありますか？</p> <p>1 インフルエンザなどで学年閉鎖や学級閉鎖などになった場合、該当学級でなくても、さくら連絡網を活用してお知らせしてほしいです。流行状況がわかりにくく、受診時に困ります。</p> <p>2 プリント、お知らせ等をメール送信にする重複する内容のものもあるように思います（例えば運動会のお知らせなど）</p>
見解	<p>1 学級閉鎖・学年閉鎖の状況は全保護者へお知らせいたします。</p> <p>2 プリントで周知することで十分なものもございますが、緊急性のあるものや確実に周知が必要な者については、プリントとメールでお知らせする場合がございます。</p>

(1) 学習面（授業、教育相談、参観日、特別支援教育等）について

意見	<p>1 タブレット学習を、ほとんどしていないように思えます。もっと有効に活用して、これからの時代に必要なITツールを使いこなす力をつけさせていただけたら嬉しいです。</p> <p>1 昔ながらの教育を繰り返している印象が大きいです。時間割上は少人数指導やT・Tになっていても普通の授業との違いが見られないようです。GIGAスクール構想に対応して機器の整備はされていますが、ICT機器の活用が進んでいるとは言えません。</p> <p>1 タブレットの活用をもっと積極的に行って欲しいです。タブレット導入で重たい教科書から子供たちが解放されるのかと思いきや、二重苦になっているように感じます。また、家庭での扱いについて、学年ごとに異なる方針なのか、四年生はのびのびとプログラミングを楽しんでいるのに対し、六年生は家での使用が限定されているのか、プログラミングをやりたいのに出来ないということで、妹のタブレットを覗き見るだけになっています。興味のあるうちにどんどん触れるよう、学校の方針として積極的な活用を促してもらえればと思います。</p> <p>1 いつも丁寧なご指導ありがとうございます。タブレット学習ですが、いまいち家庭での取り組み方が分からず、週末持ち帰ってくるだけで特に何もしていません。他の子がどれ位まで終えているのかなど分かれば自分の目標にもなると思います。良い活用方法、指導が分からずすみません。</p>
見解	<p>1 タブレット端末を用いた授業について、「えべつ情報活用能力を育む学習プログラム」「大麻小情報教育指導計画」に基づき、各学年で適切に取り組んでいます。今後も、各学年の発達段階にに応じて、端末を有効的に活用していきます。タブレット端末を活用した家庭学習については、年度当初に配布した、「江別市『学習者用タブレット端末使用ルール』について」「学習者用タブレット端末を活用した家庭学習について」に基づき、各学年の実態に応じ、適切に進めていきます。</p>

(2) 生活・安全面（校内生活、いじめ、安全教育、食育、健康教育、読書活動等）について

意見

- 1 夏に暑くて首に冷たいリングはいいが、小型扇風機は勉強の妨げになるので禁止みたいな感じでしたが、命に関わる事なので、扇風機であろうが暑さをしのげる物であればなんでもいいのではないかと感じました。暑い事のほうが勉強の妨げになるし、命の危険もあります。
- 2 いじめアンケートが、適切に行われているか疑問に感じる事がありました。
- 2 担任の先生を始め、学校関係者の方々に温かなご対応を頂いて、感謝申し上げます。
学習は、タブレットを活用した課題作成、調査など、暗記型と思考型がバランスよくされていて、興味を深めています。
学校全体で、いじめを無くすではなく、いじめのサインを見逃さない対応をされていると思います。アンケート調査など子供達の実態を把握して、対応、結果公表、地域ぐるみで学校づくり。また、人権教育は私と貴方の権利を学びきっかけになります。
また、社会通念上/法的いじめにあい、身を守るために休んでいるケースへもタブレット学習をご検討お願いします。文部科学省では、すららを出席扱いしているようです。もし、タブレットの貸し出しに何らかのバリアがあるなら、市教とご検討頂いたら幸いです。
最後に、safety promotion school(心のつらさへの保健室活用)、KiVaプログラム(いじめを見かけたさいに傍観者をつくらないためのワークショップ)、トラウマケアについてスクールカウンセラーとの連携、すぽっとケアの紹介(青年センターで平日毎日開催に変更になり、情報図書館の日もあるようです。保健室登校が難しいこともあるかと思いますが、勇気を出して外に出て安心できる環境で回復をはかることも)もご検討頂ければ、ケアを必要としている児童の助けになるかと考えます。
義務教育は社会人になる最低限必要な教育です。学校便りで校長先生が触れられた通り、18歳成人で、社会人までの期間は短くなりました。全ての児童へ、学ぶ機会をお願いします。
- 2 警察の啓蒙関係の話はもっと積極的に依頼すべき。
家庭との連携はプリントのみで電話をして対応をお願いしても何もしていない杜撰な家庭との連携となっているので改善が必要。
家庭との認識違いが多々あり、家庭との情報共有がなされているか疑問。
児童の話を両方聞き、判断は他一人の教諭の主観で行うのではなく複数の教諭で行うべき。
教諭間での情報共有はマメに行うべき。
いじめ、犯罪行為があった場合はすぐに警察と連携すべき
- 2 学校と保護者の両方が連携と認識を持って欲しい。問題が起きた際や通常とは違う対応は生徒・保護者に説明責任を口頭や保護者には書面にて果たして欲しい。
校長、教頭先生など、責任ある管理者は不定期の抜き打ちで校内クラスや教諭の様子を見回り、校内の風紀や教諭の任命、管理責任を果たして欲しい。
いじめは犯罪行為に繋がり、どういう罪になるかを外部講師により講座をして欲しい。
ぶつかったり、痛い思いなどをさせてしまったら、理由に関わらず謝るべき。生徒が故意じゃないとか、故意とかの理由に関わらず、あった事はきちんと都度謝罪するよう指導して欲しい。

見解

- 1 教室内での学習で命の危険がある場合には、臨時休校等の措置が取られると考えます。登校できる日には、学習に集中しやすい環境を整える必要がありますので、音の出ない首を冷やす物等を持ってきていただければと思います。
- 2 いじめの問題、その対応についてご意見をいただきました。児童の日常の様子や児童同士の関わりの中から、些細な変化や兆候を逃さず見取ること、いじめに関わる調査の活用や本人や周囲の児童・保護者等の訴えを受けとめることを通して、児童が苦痛に感じていることを把握し適切な対処を進めなければなりません。本校では、いじめとして認知しなければならない事案に対する認識の甘さや情報共有の不備があり、迅速かつ適切な対応ができなかったケースがございました。このことを反省し、担任一人の判断ではなく、いじめではないかと考えられる情報を把握した場合は、情報を共有し組織的に判断し、いじめであると認知した場合には全教職員で共通理解のもと対処することを再確認いたしました。
いじめに関しては、未然防止・早期発見・適切な事案対処が大切です。江別市では年に3回のいじめの問題に関わる調査を行っています。その結果は学年間だけでなく、全教職員で共有し、必要に応じていじめ対策委員会を開き、対応しています。また、児童や保護者の方からの情報があれば、その都度、情報を収集・整理し対応しています。なお、いじめの問題に関わる調査については「嫌な思いをしたことがあるか」というスタンスで児童に確認し、聞き取りを行っています。
また、児童には日頃から悩みを抱え込まず周囲に相談することの大切さを伝えていくことも必要です。本校では、「相談ポスト」を設置し、担任以外の相談員などに悩みを相談できるようにしています。学校としては、困っている児童に必要な対応をしていきたいと考えていますので、何かありましたら、その都度ご連絡いただければ幸いです。

(3) 行事（遠足、運動会、学芸発表会等）について

意見

- 1 学芸会等、休んだ子のために後日もう1度開催してくれたら嬉しいです。
 - 1 コロナによる行動制限もなくなり、のびのびと過ごしていると思います。学芸発表会も観覧の制限がなくなり嬉しく思いました。ただ、3年前に卒業した姉のときと異なり、我が子以外の学年は観覧しない保護者が増えているように感じ、寂しく感じました。特に6年生の演目など、毎年楽しみにしていましたが…コロナ前のように、地域みんなで子どもたちの成長を見守る雰囲気がいつか戻ると良いと思います。
 - 1 いつも子供たちのために、ご指導いただきありがとうございます。
我が子の学年が上がるにつれ、先日の学芸会で思ったことがあります。
数学年前から入場し、入れ替え時も移動せず前面の良席を確保している方が多く、とても残念です。子供の晴れ舞台を近くで観たい気持ちはわかりますが、学年ごとの入れ替え制の意味を成していないように思います。時間の都合もあると思いますが、完全入れ替え制、学年の確認など対策していただけると、より子供たちも保護者が近くになり記憶に残るものになるのではないのでしょうか？
 - 2 行事の時に、低学年玄関から入れるのか、高学年玄関から入らなければならないのか、わからない時がありました。毎回、プリントでその明記もしていただけると有り難いです。
 - 3 遠足の時の様子を写真で思い出に残したいのですが、大麻小学校は遠足の写真だけないのでとても残念で仕方ないです。同じように思ってる保護者は多いです。せめて来年からでもいいので、遠足の時も写真を撮ってもらいたいです。先生が撮った写真でもいいので、なんとかならないでしょうか？
よろしくをお願いします。
- ☆ 今年の運動会は2日に分けて開催されたことにより盛り上りに欠け、がんばっている子供たちへの応援が少なくなってしまう、子供たちがかわいそうに感じました。また、閉会式で校長先生が、来年こそはというようなお話をされましたが、六年生にとっては最後の運動会だったわけで、寒い中頑張った子供たちへの声かけとしては違和感がありました。
- ☆ 運動会の時は、お天気が不安定でしたが、校長先生をはじめ、先生方が未明から集まりグラウンドの整備をされていたとの事でした。とても大変だったと思いますが、子供達や関係する方達のことを考えて決断して動いてくださり、本当にありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。
- 4 運動会を分けて開催するのは反対。平日にやるなんて以ての外。グラウンドの水捌けが悪いのはわかっていたはず。前日までの雨のせいでグラウンドのコンディションが悪いから、と平日に延期したが、コンディションは変わらず、結果論だが延期の意味がなかったように思う。急遽だったから仕事等を休めず観覧できる保護者も多くはなかった。怪我する子が出るとクレームになるからだろうけど、運動すれば怪我はつきものだし、モンペ対策のためなら甚だ迷惑。来年からは雨天の場合、順延にこだわって中途半端になるくらいなら、思い切って次週へ延期としてください。
- 4 運動会はこのまま午前のみなののでしょうか？運動走やカラー綱引きなどなくなって、どんどんいろんなことが縮小化されていくことに寂しさを感じます。運動会のお弁当も作るのももちろん大変ですが、子供は喜んでくれるし、あのお弁当の時間は運動会でしか味わえないことなので復活してほしいなあとも思います。
- 4 いつもありがとうございます。
要望として、、、運動会について
お弁当は難しいかもしれませんがぜひ騎馬戦だけは復活させて欲しいです。
5.6年生の勇姿を保護者も見たいですし、下級生にも見てもらい、自分達の番を期待してもらいたいです。リレーは代表者だけです。ぜひ全員参加の競技を復活させて下さい!!
- 4 毎年思うんですが、運動会、6月の初めって必ず天気イマイチですよ。かれこれ15年近く小学校の運動会行ってますが、寒いとか、風が強いとか、雨が降ってきたとか…子供達もかわいそうだし、観ている方も辛いです。少し時期を検討して欲しいです

見解

- 1 学芸発表会については、より多くの方に発表を見ていただきたいため、完全入れ替え制は行いませんが、事前に学校からの案内文書や学年便りなどで啓発するとともに、当日会場での呼びかけも強化していきます。
- 2 行事の際に保護者の使用する玄関について、配布プリントによって明記されていないものもありました。わかりやすく明記するとともに、玄関にもその都度掲示をしていきます。
- 3 遠足の写真については、各学年実施場所が異なるため、写真屋さんがすべての学年を回ることが難しいです。今までも6年生は、卒業アルバムのために撮影していました。
- 4 他の行事との兼ね合いがあり、大麻小学校ではこの時期に開催しています。毎年天候に悩まされますが、より良い方法で開催できるよう臨機応変に対応していきます。
今年度は顕著な雨雲の接近もあり、残った種目を延期する判断をしました。しかし、全日程ではなく一部の競技の延期では振替休業を再び設定しなければならない休日の開催は難しく、また、全教育活動における運動会への練習時間が限られており、以前のように行うのが困難になってきております。子どもたちが大きく成長し楽しみにしている大切な行事ですので、意欲的に活動に取り組んでいけるよう今後も試行錯誤してまいります。

(4) 学年・学級経営について

- 意見
- ☆ 担任の先生がとても子どものことを気遣ってくださる方で、保護者としても大変ありがたいです。お便りもわかりやすく、学校の雰囲気もとても明るいと感じます。欠席連絡の方法も保護者の負担が少なくていいと思います。
 - ☆ いつもお世話になっております。担任の先方のおかげで特に不安な事もなく、息子も楽しんで登校出来ており、親も安心して通わせる事が出来ております。ありがとうございます。
 - ☆ 前年に比べて成績も上がり家庭学習の習慣も身につく、友達の輪も広がり子供に笑顔が増え表情豊かになりました！先生がきちんと生徒の事を見てくれてくれていて、保護者の事も考えてくれて誠意が伝わり安心して学校へ通わせてれていることに感謝しています！
 - ☆ 毎日、意欲的に学校に行っています。担任の先生がよく理解して下さってるのももちろん、隣のクラスの先生も、クラスの枠を超えて見て下さり感謝しています。親として、学年の先生を信頼できる事が、何より嬉しいです。
 - ☆ いつもありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。
 - ☆ いつも子どもたちを暖かく見守り支援していただき感謝します。
 - ☆ 親が参加する行事が多くて驚きました。(必須ではなくても)年間行事予定に記載されているとありがたいです。また、授業で使用する小物(空き箱や折り紙など)をもっと早くにお知らせ頂きたいです。

(5) その他（施設管理面、その他）について

- 意見
- 1 暑さ、寒さ対策もう少し何とかしてほしい。
 - 1 老朽化の改善を希望します。特にトイレや冷暖房の完備。
 - 1 クーラーの設置を検討して欲しいです。
 - 1 秋、冬が寒すぎる。建物の歴史みたいな古臭いこと言っていないで、生徒の体調を一番に考えるべき。
 - 1 学校設備を改善してほしいです。廊下にもストーブがないと寒いようです。夏の温暖化含めてクーラーの設置してほしい。
 - 1 校舎が古いせいか夏は暑く冬は寒いそうなので、夏はクーラー、冬は暖房器具を増やしてほしいです。
 - 1 猛暑対策でのエアコン等設置を検討してほしいです。
 - 1 これからの時期、学校内が寒くなるので、暖房設備を充実させて欲しいです。
 - 1 学校が古いので夏暑く冬寒いのは子供達にはつらいかなと思います。
 - 2 換気の際の教室温度調整が適切に感じない。
ドアの前にパーテーションを置くなど、換気時に冷気が直接児童に当たらない対策が出来ないか？
 - 3 給食の牛乳について、牛乳以外の選択肢を用意してほしい。
体質的に合わない人は結構いるはずです。
 - 4 夏の暑さ対策を強化してほしい。放課後の学校内の児童館を作ってほしい
1人で留守番をする子供達が安心して過ごせる場所を望みます。
 - 5 学校の防犯対策について質問があります。
文部科学省のサイトによると、教室内から廊下など周辺の様子が感じられ、緊急時にどの方向へ避難すべきか判断がつくよう、室内からの視認性を確保することが重要であるとの観点から、一部を適切な強度を持ったガラス等で計画し、見通しが利くようにすることや、複数の出入口から避難できるようにすること等を推奨しているようです。
大麻小学校にはドアが一つしかなかったり、廊下側が壁になっている教室も一部あると思うのですが、不審者が侵入した時等の非常時の対策はどのようにされているのかをお聞きしたいです。
よろしくをお願いします。
 - 6 遊具が撤去されたと言っていたので、代わりに何かロープみたいな遊具的なものが外にあったらいいなと思いました。

見解	<p>1 設備に関しては、学校独自でできることには限界があります。特に冬の寒さには、早くから暖房を入れて校内をできる限り暖めること、寒さを感じている児童には重ね着をお願いすることで対応しております。夏の暑さ対策については、昨年の夏の猛暑を受け、江別市で予算が計上されました。本校では、各教室に窓にはめるタイプのエアコンの設置、保健室、家庭科室、図工室にルームエアコンが設置されることとなりました。</p> <p>2 過度に冷えすぎないように、窓や扉の開け方の工夫や換気時間の配慮をしていくようにします。</p> <p>3 アレルギーがあれば対応可能との回答を給食センターからいただいております。</p> <p>4 大麻小学校内に児童館を開設するのは、現状の校舎設備や空き教室の状況だと難しいと考えます。</p> <p>5 「一部を適切な強度を持ったガラス等で計画し、見通しが利くようにすることや、複数の出入口から避難できるようにすること」について大麻小学校の低学年教室は、ガラスによる見通しが効いていること、教室の出入り口は一つであるが、外へ避難するための非常口が設置されているので、概ね満たしていると言えますが、高学年教室はそのような作りになっておりません。そのため本校では、まずは不審者の侵入の未然防止に努めています。児童以外の校内への出入りは、職員玄関から行うこととしております（低学年玄関側には防犯カメラを設置して、職員室から様子が見えるようになっております）。次に、万一不審者の侵入があった場合の放送（不審者が入っています、のような不審者を刺激するようなものではなく、暗号のような内容としています）を決めています。放送を掛けて訓練を12月に実施しました。</p> <p>6 安全確保の観点から、老朽化した遊具は撤去することになります。現状新たな遊具が追加される予定は立っていません。</p>
----	--

～ありがとうございます～

保護者の皆様には本校の教育活動推進における様々な場面でご理解とお力添えをいただきました。また、大麻小の子どもたちのためにボランティア活動でも多くの保護者の方にご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。

5月には新型コロナウイルス感染症が5類となり、欠席の対応が変わりました。夏の猛暑時には児童の安全を考慮し、急遽日課を短縮して午前授業とせざるを得ない状況がありました。秋口からはインフルエンザによる学級閉鎖の対応を行った学級もありました。保護者の皆様には、その時々で対応をお願いする場面がありました。ご協力に感謝いたします。

保護者アンケートを通じていただいたお声を真摯に受け止め、子どもたちの成長の一助けとなるように努力してまいります。今後も、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

令和5年度 児童アンケートの結果分析

提出数 285

「1」とてもよくあてはまる 「2」だいたいあてはまる 「3」あまりあてはまらない 「4」あてはまらない

項 目	評価	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計	今年度	R4年度	R3年度
1 学校は、楽しい。	1	28	36	16	24	27	26	157	55.1%	59.0%	67.8%
	2	9	6	11	29	27	22	104	36.5%	33.8%	24.8%
	3	1	1	5	2	5	6	20	7.0%	6.2%	4.3%
	4	1	0	0	0	1	2	4	1.4%	1.0%	3.1%
評価1・2の「とても」「だいたい」を合わせて約90%を越えているということは、評価できる結果と考えられますが、年々1の割合が減少・2が増加しているのは気になる点です。また、「あまりあてはまらない・あてはまらない」と回答した児童へのケアが求められます。今後も児童の様子を見取り、一人一人が楽しく学校生活を送れるように全教職員が努めていきます。											
2 元気にあいさつをしている。	1	29	30	13	21	27	15	135	47.4%	40.3%	51.4%
	2	9	12	17	22	24	33	117	41.1%	51.9%	39.3%
	3	1	1	2	11	9	8	32	11.2%	7.5%	9.0%
	4	0	0	0	1	0	0	1	0.4%	0.3%	0.3%
全体的には、90%程度の児童が肯定的な意識を持っていますが、4年生以上の「あまりあてはまらない」の増加傾向にあることに目を向ける必要があります。人間関係を円滑にするなど挨拶がもたらす効果を伝え、子どもへの肯定的な意識付けを行うことと、高学年がよい手本となる意識を醸成し、自主的な挨拶ができる児童を育成していきます。											
3 先生や友だちの話をきちんと聞いている。	1	28	36	20	23	28	38	173	60.7%	63.6%	60.4%
	2	9	7	10	27	29	18	100	35.1%	32.5%	33.1%
	3	2	0	2	4	3	0	11	3.9%	3.9%	6.2%
	4	0	0	0	1	0	0	1	0.4%	0.0%	0.3%
肯定的な意識を持っている子が全体の95%程度を占めています。落ち着いた学校生活を送っている姿につながっていて、日常的な指導の成果ととらえることができます。今後も日々の指導の中でしっかりと聞く指導を継続し、聞こうとする意識付けや工夫を行うことが大切であると考えます。											
4 授業中に、たくさん発表している。	1	21	14	10	15	10	7	77	27.0%	39.6%	31.9%
	2	15	22	17	14	23	24	115	40.4%	35.1%	40.2%
	3	3	7	5	22	20	22	79	27.7%	20.8%	22.0%
	4	0	0	0	4	7	3	14	4.9%	4.5%	5.9%
前年度より下降傾向にあり、相対的に低い評価となっています。対話を重視した授業に転換していくこと、子どもの表現する機会を日常的に設けることを通して意識を高めていくことが必要と捉えられます。一方、よい聞き手が他者の表現力を高めるといった観点からも、聞く・話すことを並行して指導してまいります。											
5 勉強は、よくわかる。	1	27	31	19	18	22	20	137	48.1%	42.5%	52.9%
	2	11	12	11	36	31	32	133	46.7%	47.1%	37.8%
	3	1	0	2	1	5	4	13	4.6%	9.1%	8.4%
	4	0	0	0	0	2	0	2	0.7%	1.3%	0.9%
勉強がよくわかるかという問いに対して肯定的な意識をもっている子の割合は高いです。「あまりあてはまらない・あてはまらない」の割合も減少しています。これからも児童の実態を踏まえた指導の方法、少人数指導などの指導の工夫を図ってまいります。											
6 困ったことは、先生に相談している。	1	25	29	10	11	16	14	105	36.8%	36.0%	38.4%
	2	12	11	12	26	18	16	95	33.3%	33.8%	32.2%
	3	2	3	9	13	18	20	65	22.8%	23.1%	21.7%
	4	0	0	1	5	8	6	20	7.0%	7.1%	7.7%
相談を必要とすることがなかった、ということも考えられますが、何かあった時には相談できる体制や関係づくりを構築する必要があります。児童には、一人で抱え込まずに相談していいこと、助けを求めるとは恥ずかしいことではないという意識を育てることが大切であると考えます。											

7	普段、家でどれくらいの時間、勉強していますか。【低学年】	①	15	25	16				56	49.1%	51.8%	42.2%
		②	8	11	8				27	23.7%	26.3%	23.5%
	①30分以上 ②20分以上30分より少ない ③10分以上20分より少ない ④10分より少ない ⑤ぜんぜんしていない	③	12	4	4				20	17.5%	17.5%	18.1%
		④	4	3	2				9	7.9%	3.6%	9.6%
		⑤	0	0	2				2	1.8%	0.7%	2.4%
	普段、家でどれくらいの時間、勉強していますか。【高学年】	①				7	13	27	47	27.5%	32.2%	20.8%
②					14	20	16	50	29.2%	22.8%	33.9%	
①1時間以上 ②50分以上1時間より少ない ③40分以上50分より少ない ④30分以上40分より少ない ⑤30分より少ない ⑥まったくしていない		③				20	11	6	37	21.6%	22.2%	21.4%
		④				8	5	4	17	9.9%	8.2%	16.1%
		⑤				6	10	3	19	11.1%	11.7%	6.0%
⑥					0	1	0	1	0.6%	2.9%	1.8%	
低学年、高学年ともに、家庭で学習に取り組む習慣が身につけていることがうかがえます。低学年では評価の4・5が微増傾向にあるので、今後も一人一人の子に焦点を当て、家庭と連携を図りながら、その子の現状に合った取組を助言する等の支援を進めてまいります。												
8	土日、家でどれくらいの時間、家庭学習していますか。【低学年】	①	10	12	1				23	20.2%	8.0%	15.7%
		②	5	4	3				12	10.5%	23.4%	16.9%
	①2時間以上 ②1時間以上2時間より少ない ③30分以上1時間より少ない ④30分より少ない ⑤ぜんぜんしていない	③	7	16	13				36	31.6%	30.7%	31.9%
		④	10	11	13				34	29.8%	27.7%	22.3%
		⑤	7	0	2				9	7.9%	10.2%	4.2%
	土日、家でどれくらいの時間、家庭学習していますか。【高学年】	①				4	5	1	10	5.8%	5.3%	23.8%
②					2	6	8	16	9.4%	11.1%	25.0%	
①3時間以上 ②2時間以上3時間より少ない ③1時間以上2時間より少ない ④30分以上1時間より少ない ⑤30分より少ない ⑥まったくしていない		③				16	17	28	61	35.7%	30.4%	23.8%
		④				24	16	16	56	32.7%	32.7%	12.5%
		⑤				6	10	2	18	10.5%	13.5%	10.1%
⑥					3	6	1	10	5.8%	7.0%	4.8%	
土日の家庭での学習の取組は例年とほぼ同様の結果となりました。保護者アンケートでも、家庭での学習習慣の定着についての評価はここ数年相対的に低い評価となっています。家庭とも情報の共有や連携を図り、個に応じた支援を進めていく必要があると考えます。												
9	忘れ物をしないようにしている。	1	26	23	19	35	49	40	192	67.4%	53.6%	59.4%
		2	10	16	11	17	11	13	78	27.4%	40.3%	31.0%
		3	2	4	2	2	0	3	13	4.6%	5.5%	8.4%
		4	1	0	0	1	0	0	2	0.7%	0.6%	1.2%
高い評価結果として表れている項目ですが、学校(教師)の評価とはやや乖離のある結果となっています。忘れ物をしないように努力はしていると前向きに捉え、今後も通信等を活用し保護者への協力の呼びかけを行い、忘れ物を防ぐ具体的な方策の提案など、個別の対応を進めていく必要があると考えます。												
10	きまりや約束をきちんと守っている。	1	26	33	17	28	35	36	175	61.4%	59.1%	63.2%
		2	12	8	14	26	25	19	104	36.5%	36.0%	33.1%
		3	1	2	1	1	0	1	6	2.1%	3.9%	3.7%
		4	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	1.0%	0.0%
多くの子が落ち着いた学校生活を過ごしていることが読み取れます。大麻小の子のよさを今後も確認することを通して、自己有用感を高め、自信をもって行動できる児童の育成、主体的に粘り強く取り組む力の向上につなげてまいります。												
11	委員会活動、係活動や当番活動は、責任をもって活動している。	1	31	38	20	42	45	45	221	77.5%	82.5%	77.1%
		2	7	4	9	11	15	10	56	19.6%	16.2%	20.4%
		3	1	1	3	1	0	1	7	2.5%	1.3%	2.2%
		4	0	0	0	1	0	0	1	0.4%	0.0%	0.3%
大麻小の子どもたちの、責任をもって仕事に取り組む意識の高さを読み取ることができます。コロナ対策も緩和し、今年度から活動の幅も広がっていることから、今後も取組を工夫し、達成感・成就感を実感できる指導や評価を進めてまいります。												
12	人の心を傷つけないように、気をつけている。	1	30	34	19	34	43	45	205	71.9%	71.8%	75.2%
		2	7	8	10	20	15	11	71	24.9%	26.6%	19.2%
		3	2	1	2	1	2	0	8	2.8%	1.3%	5.3%
		4	0	0	1	0	0	0	1	0.4%	0.3%	0.3%
例年と同様の結果となっています。今後も、学校生活の様々な場面で、思いやりのある行動、助け合う姿など、具体的な行動に対して評価や価値づけをすることを通して、他人への優しい気持ちや豊かな心を培う指導を大切にまいります。												

13	運動することは、楽しい。	1	30	36	25	35	39	37	202	70.9%	75.0%	77.7%
		2	7	5	6	16	8	12	54	18.9%	18.2%	15.5%
		3	1	1	0	4	8	6	20	7.0%	3.9%	4.6%
		4	1	1	1	0	5	1	9	3.2%	2.9%	2.2%
<p>下降傾向にある項目です。やや、高学年で否定的な意識を持った児童の数が多く結果となっています。学習と同様に、今後も、授業改善・指導の工夫、個に応じた指導を進めることや、全員遊びの工夫した取組の推進などを通して、運動の楽しさを味わわせることが大切であると考えます。</p>												
14	運動会、学芸発表会などの行事は、楽しい。	1	32	40	26	41	35	40	214	75.1%	80.3%	78.1%
		2	7	2	5	11	17	10	52	18.2%	16.2%	15.8%
		3	0	0	1	1	7	6	15	5.3%	3.2%	4.6%
		4	0	1	0	2	1	0	4	1.4%	0.3%	1.5%
<p>例年と同様の評価となっており、相対的な評価も高い項目です。今後も、行事等を通して、目標の設定とそれに向かって努力する心を育み、達成感や成就感、集団としての連帯感を味わわせることにより、自己有用感を高め、生き生きとした学校生活につなげてまいります。</p>												
15	勉強や活動などに、最後まであきらめないで取り組んでいる。	1	31	36	17	26	32	29	171	60.0%	62.4%	69.1%
		2	8	7	13	23	26	21	98	34.4%	34.7%	25.4%
		3	0	0	2	6	2	6	16	5.6%	2.6%	4.0%
		4	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.3%	1.5%
<p>例年同様、相対的に高い評価となっている項目です。最後までやり遂げようとする意識を持っている児童が多いことが伺えます。これからも個に応じた指導、声掛けを行う中で、成就感を味わわせ主体的に取り組む力と意欲の向上につなげてまいります。</p>												
16	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。	1	20	28	12	14	18	18	110	38.6%		
		2	19	11	17	31	35	27	140	49.1%		
		3	0	3	3	8	6	10	30	10.5%		
		4	0	1	0	2	1	1	5	1.8%		
<p>学校(教師)の評価と児童の評価に乖離が見られる項目です。子どもたちなりに、考えを伝える工夫して発表しているという意識を持っているが、教師の目指す姿まではもう少し高まりが必要であると捉えています。発達の段階に合わせた具体の姿を示すなどして、子どもたちにとっての「目指す姿」を示し、学習の中で発表する力を伸ばしていく必要があると考えています。</p>												
17	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	1	22	36	15	26	20	23	142	49.8%		
		2	15	5	12	19	35	20	106	37.2%		
		3	2	1	5	10	3	13	34	11.9%		
		4	0	1	0	0	2	0	3	1.1%		
<p>上記16と同様、今年度設定した項目です。学習の中で「対話」を通して学習を深めることができているかをみる項目で、90%弱の児童が「とても・だいたいあてはまる」と回答しています。一方、10%以上の児童があまりあてはまらないとのことでありますので、他者との関わり・対話を中心とした「協働的な学び」の場面を積極的に取り入れた授業を推進していく必要があると考えます。</p>												